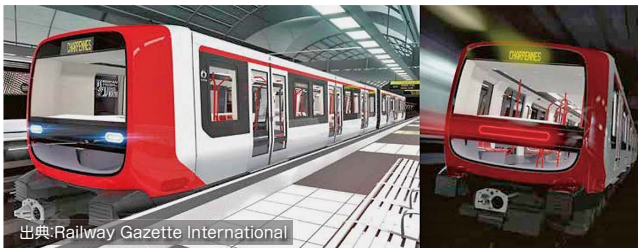


情報通信 自動運転の拡大と輸送力増強

原題: Automation takes centre stage in metro upgrade programme
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.173 No.6 (2017-6) pp.66-67

リヨンの地下鉄の輸送量は2009年から2015年の間に20%増加し、今後もこの傾向が続く見通しです。運営するSytralは、これに対応する「Avenir metro (未来のメトロ)」計画を策定し、4億3000万ユーロを投じる予定です。最も輸送量が増えるB線に自動運転を導入します。アルストム製CBTC方式の運転保安システムによる運転を2019年末に始める予定であり、運転間隔を短縮します。車両は2両編成30本を新製します。また現有車両も新車と共通運用できるように改修を行います。1980年代から自動運転を行っているD線も、2023年までにB線の新方式に合わせる計画です。自動運転の実績があるD線ではホームからの転落検知システムを用いており、ホームドアはありません。B線、D線ともこの方式を踏襲しますが、ホームドアを設ける可能性もあります。



リヨンの次世代地下鉄車両の外観

情報通信 公共交通機関におけるチケット購入の革新的ソリューション

原題: In-Out-Lösungen revolutionieren den Ticketkauf im ÖPNV
誌名: ETR: Eisenbahntechnische Rundschau Vol.66 No.6 (2017-6) pp.72-77

公共交通機関におけるスマート・チケットの最高レベルの快適性はイン・アウト・システムにあります。RMV (ライン・メイン公共交通機関) は、電子料金管理のロードマップを念頭において明確な目標を持っています。それはRMVは未来の発券システムを実装するという原則です。イン・アウト・システムは公共交通のためのスマートな発券において、最も利便性の高いものを構成します。RMVは電子料金管理のロードマップを発表しました。ここには明確な目標が想定されています。将来的には、旅行を始める前にチケットを得るために必要なものは何もないはずで、旅客は公共交通機関に簡単に乗車でき、旅行データはスマートフォンのアプリで自動的に取得され、後払いで決済されます。このロードマップによると、RMVは2020年以降の実使用のためのイン・アウト・システムの完成をめざしています。



((eSIM-Appを搭載したスマートフォン

輸送 軌道に乗るラオス・中国間の鉄道

原題: Laos-China Railway on track
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.173 No.8 (2017-8) pp.52-53

2016年12月に正式着工したラオス・中国間の鉄道は、ラオスのビエンチャンから国境の町ボテンを結ぶ延長414kmの多くが山間部であり、75か所のトンネル、167基の橋りょうを含みます。軌間は1435mmで最高速度は旅客160km/h、貨物120km/hの運転が予定されています。2001年の両国間の協議開始以来、中国側契約責任者の罷免など、紆余曲折を経て、2015年に至って体制が整いました。工事開始後も資金面、社会面および環境面でお課題を抱えていますが、政府関係者はこの鉄道がラオス経済に好影響を及ぼすことを期待しています。一方で計画を危ぶむ専門家もいますが、中国の一带一路政策に組み込まれたことを楽観視する向きもあります。



現在建設中の南北線

車両 ヨーロッパの輪軸メーカーの技術開発動向

原題: Searching for wheel innovation
誌名: RGI: Railway Gazette International Vol.173 No.8 (2017-8) pp.49-51

現在、ヨーロッパ鉄道輪軸協会に5社が加盟しています。輪軸に関する最近の情勢は、車両の騒音規制が厳しくなったことと、寿命延伸の要求が高まったことです。Lucchini社では20年前にナポリ近郊の観光地の要求に応じて防音車輪を開発しましたが、最近、これをベースとした車輪が高速車両ETR1000に採用されました。GHH-Bonatransグループでは、比較的シンプルなリングを用いるタイプから、より複雑な構成のものまで、各種の防音車輪をそろえています。後者はベルリンのUバーンに採用されました。初期コストは高くなりますが騒音低減用の部品は車輪交換時に



Zefiro ETR1000台車に組み込まれた騒音低減パネル付き輪軸

再使用できますので、ライフサイクルコストでは有利です。また同社ではライトレール向けの「スーパー防音車輪」を開発し、トロントなどカナダ各地の車両に供給しています。



WRT (海外鉄道技術情報) は海外主要鉄道誌の記事抄録を含め、海外の最新の鉄道技術情報をタイムリーに紹介する季刊誌です。ここに紹介した記事はその一部です。
⇒新刊案内、バックナンバーは総研HP (www.rtri.or.jp) をご覧ください。
⇒問合先 (研友社) TEL: 042-572-7157 HP: www.kenf.jp